

# CWA NEWS



## ウィスコンシン州友好使節団が来葉

ウィスコンシン州友好使節団10名が9月24日(土)来葉しました。

同使節団は9月27日(火)に千葉県庁を訪れ、森田知事が出迎えました。森田知事は「ようこそ千葉へ」と英語であいさつした後、「2010年ウィスコンシン州を訪れ、豊かな自然と歴史、人々とのふれあいに感動した。ウィスコンシン州と千葉県の関係がますます深まるよう祈念する」と歓迎の意を伝えました。

これに対し、Durtka使節団長(ウィスコンシン千葉委員会



森田千葉県知事を囲んで記念撮影

委員長)は、「皆様と情報を共有し、皆様から学ぶために千葉県に来た。皆様の音楽、教育、文化、生活について学ぶのを楽しみにしている」と、今回の訪問への期待を述べました。

使節団受入れに関する詳細は次号で報告する予定ですが、メキシカンダンスのメンバーによる文化・芸術グループは、公演活動などを通じ茂原市内を中心とする小中高の各学校での交流や市民との交流活動に精力的に取り組み、多くの県民の方々に感動を与えました。

月 日	文化・芸術グループ	教育グループ
9月24日	成田着	
9月26日	茂原市長表敬訪問 呈茶 市役所ロビーコンサート 草木染体験 交流コンサート	千葉県看護協会 ウィスコンシン友好広場 千葉県精神科医療センター
9月27日	千葉県知事表敬訪問	
9月27日	海ほたる 拓大紅陵高校	千葉県総合教育センター
9月28日	茂原中学校 長生高校 市民交流イベント&交流コンサート(市民ホール)	千葉市立宮崎小学校 県立幕張総合高校看護科 県立保健医療大学看護学科
9月29日	茂原小学校	千葉大学看護学部
	フェアウェルパーティ	
10月1日	成田山 帰国	

また、主に看護の専門家による教育グループは、千葉市内において、県の関係施設や小学校、高校、大学等を精力的に巡り、関係者との意見交換を行うなど交流を深めました。

ホストファミリーの皆様については、Durtka使節団長から素晴らしいマッチングとのお褒めの言葉をいただくなど、心のこもったおもてなしをしていただき、心から感謝申し上げます。

使節団は県民に数々の感動と思い出を残し、8日間の日程を終え無事帰国しました。

ところで、使節団が成田に到着した日の夕食会で、ある団員から、ホームステイ先の家族が英語を話せないと聞いているのでとても不安との声がありました。その後の結果については次号で報告しますので楽しみにしてください。

## 元ALTからの現況報告



James Weber

\*日本語は紙面の都合で意訳としました。

We have now passed the 6 month mark of our adventure here in NZ. As much as people emphasized the beauty of the land here, it is hard to not be surprised when you arrive here. It still blows me away every time we get in our van and go for a ride and see mountains and views of the ocean like nowhere else on earth. Our first month was spent in post-earthquake Christchurch, which after five years is still recovering after much of the city's beautiful old English buildings were damaged beyond repair. We were lucky to find a small café specializing in vegetarian food and juices through a website called Helpex, which connects people looking for helpers and people looking to give their time and energy in exchange for a place to stay and food. We stayed with the owner and really enjoyed our work and were able to meet lots of people from around the world and share some really great experiences together. After our first month of working and preparing ourselves for travel, we moved farther south to a beautiful historic town called Dunedin which is perhaps my favorite town I have ever lived in. We were able to stay for two months, first working as gardeners in a very kind woman's historic home, and later as grounds keepers for a property owner. This second job provided us with lots of freedom and time to explore the city and enjoy all it had to offer. We spent our days going to tiny cafes, the university library and on Saturday's, a quant farmer's market with live music and the best "pain au chocolate" I have had outside of France. My partner's parents and family friends came to visit from Japan during that time and we were able to share a part of this beautiful country with people we love.

It was time to head to the mountains after and experience New Zealand's natural beauty in all its grandeur. Through our connections that we had made in Dunedin we were able to stay in a very modern second house on the shores of Lake Ohau in the center of the island. It is a wonderful isolated lake, undeveloped and stunning. I would sleep outside on moonless nights and let the Milky Way seep into me. The home stands on the edge of a huge dark sky reserve and it was the first time I could enjoy the stars with literally not a single other light in my view.

We continued to tour around the south island, seeing mountain after mountain, glacier after glacier and trying to be outdoors as much as possible. Summer is a perfect time to tour around camping because the sun stays out until 10 at night and there is so much daylight to hike, cook, swim and enjoy nature. We are now entering winter and dreaming of those long days in our 5PM darkness sitting by a fire to keep warm. For the past three months we have been working again at the café here in Christchurch. During that time my girlfriend and I got engaged! We have taken on much more responsibility at the café and for the most part manage it. After a month of watching the chef cook up delicious food, I felt more confident in preparing food myself, and now at least two days a week I cook up the majority of the food alone for the café. Running the café has been quite stressful at times but an incredibly rewarding experience. My parents will come to visit in June and we will tour the north island which will be an entirely new experience for sure. We are looking forward to what is ahead here in New Zealand as well as returning to Wisconsin again in July, to spend the summer with family and friends before returning to Chiba for fall. The southern hemisphere has treated us wonderfully and we are stronger and more experienced because of it. Thanks for reading.

NZに来て6ヶ月が過ぎました。地球上のどこにもないような山や海の景色を見るたび、その美しさに圧倒されます。最初の1ヶ月、地震後5年経った今も回復途上にあるクライストチャーチで過ごしました。幸運にもHelpexと呼ばれるウェブサイトを通じて、ベジタリアンフードに特化した小さなカフェを見つけ、そのカフェのオーナーと仕事を心から楽しみ、世界中の人と出会い、素晴らしい経験を共有しました。1ヶ月後、さらに南のダニーデンと呼ばれる、美しく由緒ある街に移動し、2ヶ月間滞在。最初は庭師、次に不動産所有者の庭園管理人として働きました。管理人の時、多くの自由と街を探索する時間がありました。小さなカフェや大学図書館で過ごし、土曜日にはライブ音楽と最高の「パン・オ・ショクラ」のあるファーマーズマーケットに行きました。パートナーの両親や家族の友人が日本から来て、楽しく過ごしました。



山々を巡り、NZの雄大な自然の美しさを体験しました。島の中央にあるオハウ湖の畔のとてもモダンなセカンドハウスに滞在しました。自然に囲まれた素晴らしく魅力的な湖です。月の出していない夜には屋外で眠り、天の川が私の中に沁みこむのに身をまかせます。初めて光が全くない中で星を楽しみました。

南島のツアーでは、可能な限り屋外で過ごしました。夏のキャンプツアーには最高です。太陽が夜10時まで出ていて、ハイキングなどを楽しめます。今は冬、暖炉のそばで、午後5時には暗闇になる部屋であの夏の日々を夢見ています。この3ヶ月間、再びクライストチャーチのカフェで仕事をし、その間にガールフレンドと婚約しました！多くの責任ある仕事をしています。1ヶ月間、シェフが美味しい料理を作るのを見て、料理に自信を持てるようになり、今では少なくとも週2日、私一人で殆どの料理を作っています。カフェの経営はストレスと同時にやりがいも感じています。6月には両親と北の島を旅行し、千葉に戻る前、7月にWI州で家族や友人と夏を過ごします。南半球での素晴らしいおもてなしのお蔭で、より強くなり、多くの経験ができました。読んで頂き有難うございます。

※この原稿は今年5月に送られてきました。



## Origami体験を通して、新任ALTを歓迎する会を開催

9月4日(日)千葉市生涯学習センターで、Origami体験を通して新任ALT(外国語指導助手)を歓迎する会を開催しました。参加者は Wisconsin州出身で県内の高等学校に着任した新任1名を含むALT4名のほか、ALTの友人、かつてアメリカ大使館員だったCWAの新規会員ご夫妻など総勢19名でした。

最初に、事前に周到な準備をして臨んだ阿部運営委員がメインとなって『紙風船』の折り方の説明がありました。英語を駆使しながら、実際の折り方を繰り返し見せつつ、身振り手振りを交えて説明しました。参加者の中には、既に折り紙を体験している外国人もいて、逆に日本人が折り方を教えてもらうというような和気あいあいとした雰囲気の中で会はスムーズに進行し、あっという間に『紙風船』は完成しました。

続いて、『ツル』、『カブト』、『ゴミ入れ』と順調に進み、時間的にも余裕があったことから、参加者からはもっと難しいものをとのリクエストがありました。そこで、登場したのが山崎運営委員でした。

怪我で左手が不自由というハンデをもとせず、事前のシナリオにはなかった『カエル』の折り方を阿部運営委員と協力しながら参加者に説明しました。この作品はあまり知られておらず、この日作った中で一番難しかったこともあり完成までに時間もかかりましたが、出来た作品のしっぽの方を押すとびよんと跳ねる仕掛けに参加者全員満足感に浸っていました。



みんなしんけん!



今にも跳ねそう!



スピーチにみんな注目!



富士山をかたどった和菓子



楽しい歓談

折り紙の後は、サンドイッチと果物(梨とブドウ)、そして三橋運営委員お手製の『雪で覆われた富士山をかたどった寒天の和菓子』を食べながら歓談しました。

途中から、参加者全員による自己紹介を兼ねたスピーチがあり、フーテンの寅さんが大好きだという元アメリカ大使館員からは、銚子で切り絵を見て作者の住んでいる館山の工房まで行ってきたという話が披露されました。また、フィアンセと一緒に参加しているALTもい

て、会場内はとても和やかな雰囲気に包まれました。最後に、参加者全員の記念撮影後散会しました。



全員で記念撮影



カブトを被ってハイポーズ!

## ウィスコンシン州出身のALTを紹介します！ 県立高校には多くのウィスコンシン州出身のALTがいます。

ALTとは、Assistant Language Teacher の略で、外国語を母国語とする外国語指導助手をいいます。

現在県内の小中、高等学校には、英語発音や国際理解教育の向上のため多くのALTが配置されていますが、今回県立高校にいるウィスコンシン州出身のALTを紹介します。



### 後列左から

Jacob Stroth (松戸国際高校、薬園台高校)  
Jacob Wiering (匝瑳高校)  
Jacob Letter (土気高校、千城台高校)  
Rebecca Hafermann (流山おおたかの森高校)  
Lucas Young (千葉東高校)  
David Klug (流山おおたかの森高校)

### 中列左から

Travis Reichardt (東金高校)  
Victoria Vlisides (匝瑳高校、成東高校)  
Neda Sattler(東金高校)  
Melissa Janssen(東葛飾高校)  
Patrick Grimes (安房高校、長狭高校)

### 前列左から

Najja Gay (松戸国際高校)  
Andrew Olson (君津高校)  
Zachary Price (県教育庁、ALT Program Coordinator)  
Michelle-Lee Rodgers (柏井高校)  
Kathryn Yeazel (成田国際高校)

※ ( ) 中は所属高校

## 会員からの原稿募集についてのお知らせ

CWAでは会員交流の場として、毎年総会後に交流会等を開催していますが、お会いできない方が多数いるのが実情です。そこで、次号より会員からの情報発信の場として、『会員紹介コーナー』を設けたいと考えています。

ついては、皆さんからの原稿を募集しますので、奮ってご投稿ください。

テーマ：ウィスコンシンとの交流にまつわるものといたします。  
文字数：500字程度を目安としてください。  
写真：顔写真のほか、出来れば原稿に関連した写真を1～2枚お願いします。

送付先：kokusaig2@mz.pref.chiba.lg.jp (千葉県国際課)  
掲載時期：投稿があり次第CWAで検討のうえご連絡します。  
問合せ先：kokusaig2@mz.pref.chiba.lg.jp (千葉県国際課)

## CWAの会員を募集しています

【会費】(2016.6.1現在/個人113・団体15団体・賛助3団体)  
1 個人会員 2,000円  
2 団体会員 10,000円  
3 賛助会員 20,000円(1口)(※何口でも可)

### 【事業内容】

- 1 ウィスコンシン州との姉妹交流事業(派遣・受入)
- 2 会員等交流事業
- 3 ウィスコンシン州に関する情報収集とその発信
- 4 地域の国際交流事業への参加

### 【特典】

- ☆ 会報(CWA NEWS)の発行
- ☆ ウィスコンシン州との交流イベントの企画運営に参加
- ☆ 交流イベントのご案内
- ☆ ウィスコンシン州内の団体等との交流をバックアップ

### 【会費納入方法】

銀行振込(ゆうちょ銀行・千葉銀行)または郵便振替  
※詳しくは下記までお問い合わせください。

### 【お問い合わせ先】

電話 043-223-2394(千葉県総合企画部国際課内)

### 【編集後記】

9月下旬にウィスコンシン州からの使節団が来葉し、千葉市や茂原市を中心に県民との交流を深め無事帰国しました。これも偏に訪問先の関係者やホストファミリーの皆様など、多くの方々のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。交流の詳細については次号で紹介いたしますが、今後ともCWAは交流の輪がさらに広がるよう努力してまいります。

発行所：千葉ウィスコンシン協会

発行人：森山茂男 編集：広報部会

<http://chiba-wisconsin.net/>

〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 WBGマリブイースト14階

(公財)ちば国際コンベンションビュロー内

\*電話でのお問い合わせ ☎043-223-2394(千葉県国際課内)